

大道芸アジア月報 2019 年 11 月

Vol. 30, no. 11

編集・発行人 上島敏昭

〒165-0025 東京都中野区沼袋 2-31-2

春山荘・東

■大道芸案内

主な大道芸スポット(土・日・祝日など、通年大道芸が見られるポイント)

- 大阪・天保山海遊館広場 ■お台場・デックス東京ビーチ ■クインズスクエア横浜 at! www.studioeggs.com ■名古屋・大須ふれあい広場
- ヨコハマ大道芸 (山下公園、グランモール公園、ジャックモール) <http://daidogeij.jp/> ■しずおか大道芸の街 <http://shimarukai.org/>
- 東京都へブンアーティスト www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/ ■大阪パフォーマーライセンス <http://www.osaka-performer.com/index.php>
- 江ノ島大道芸 <http://www.fujisawa-kanko.jp/alacarte.html> ■仙台まちくるパフォーマーズ <https://machi-kuru.com/performers>

★浅草雑芸団の旅

仙台れきみん秋まつり 11 月 3 (日) 11:00~15:00 観覧無料
大沢田植え踊り、秋保・長袋の田植え踊り・川前の鹿踊剣舞との共演
問合せ 022-259-3956 (仙台歴史民俗資料館)

★今月の大道芸公演

△ギア GEAR <http://www.gear.ac/> ○千葉ポートシアター (京葉線「千葉みなと」駅下車)

- 1 月より連日 (火・水は休演) 開演時間は要確認
ブレイクダンス、マジック、マイム、ジャグリングなど融合した劇場パフォーマンス。
ジャグリングには、森田智博、ボンバンダー、CONRO、小林智宏、KaNaTa 等が出演
問合せ・電話 050-5238-3533 (イーストバジョン公演事務局)

△大道芸ワールドカップ in 静岡 <https://daidogeij.com/> ○静岡市 駿府公園、呉服町通り、ほか

- 11 月 1 (金) ~ 4 (月・祝)
アダム&ベンジャミン、アニ クーパー、チャーリー ケーパー、ケイト&パシィ、デュオ ルーキー、デュオ ユニティ、フェーブル キーヴマン、
ル モルデヴズ、ロレンツ マストロピエトロ、ミズキ シナガワ、クアトロ ストンプ、ザ コレクター、ワイズ フールズ、ケロル、池田洋介、
Izuma、KANA∞、加納真実、紙磨呂、桔梗ブラザーズ、サクノキ、ZANGE、Syan、シルヴァブレ、スピンスター、SEOPPI、ゼロコ、ダメじゃん小出、
張海輪・中国雑技王、DemaNToid、to R mansion、performer SYO!、ファニーボーイズ、ホワイトアスパラガス、まわりみち、Mr. BUNBUN、めりこ、
望月ゆうさく、山本光洋、吉川健斗、りずむらいす、渡辺あきら、アノニマ テアトロ、デュオ パデュー、ジェシカ アルバン、
ロミーナ ミッシェルティ、ジェンガ金次郎、ノームズ、ビッグルーツ、ブランコ、油井ジョージワンマンバンド、キッサー、松本かなこ、
チームパフォーマンスラボ、アートパフォーマー☆ファイター☆、ラストラダカンパニー、人宿町やどりぎ座×あそ viva! 劇場、青宙ノート、
アヤチーガル、王子菜摘子、clown ものまる、Crazy Queens Cat、健山、サムライパフォーマーズシン、ジャグラー Kentaro、大道芸人ジニー、
ジャグリングドラゴンヒョウガ、大道芸人ハンド、チンヤ、ナニコレ? 劇団、ニュートラッド、はんべす、ぼくゆう、マジ大道芸人 HAMAR、
めぐみ梨華、ヨーヨーパフォーマー TAKE Iguchi、リスボン上田、わっしょいゆーた、

△姫路サマルノリ教室「ウリカラ」第 1 回公演 ○姫路市花の北市民広場大ホール

- 11 月 2 (土) 14:00
韓国民族芸術団クンドゥル、晋州クンドゥルブナムル団、昌原クンドゥルブナムル団
翌日 (11 月 3・日) 相生市営東部墓園内「相生平和記念碑」前で、供養演奏
問合せ: 079-290-5522 (姫路労音)

△集まれ! 池袋みんなの大道芸 <http://www.geigeki.jp/performance/event247/> ○東京都芸術劇場前広場

- 11 月 2 (土) 4 (月) アルジェントさーかす、JULOT、せせらぎ、THE CHIPOLATAS
●11 月 3 (日) 中国雑技芸術団、JULOT、せせらぎ、THE CHOPOLATAS

△見世物学会 ○東京芸術大学美術学部

- 11 月 4 (月・祝) 14:00
テーマ「人型の記憶—逸脱と異形」
第一部・講演・坂入尚文、第二部・シンポジウム (青木茂・小沢剛・川井ゆう・坂入尚文・和田修・藤井秀雪)
主催・見世物学会、協力・日本玩具学会表象遊戯学研究会

△みんなであそぼ! 森と劇場のサーカスフェスタ ○練馬文化センター小ホール、つつじ公園

- 11 月 4 (月祝) https://www.neribun.or.jp/event/detail_n.cgi?id=201908141565759395
13:30 パントマイム「レストラン・フレディーノ」、14:15 サーカスショー
出演: チクリーノ (パントマイム)、天野真志 (ポールアクト)、慶留間知樹 (けん玉)、後藤大和 (ヨーヨー)、J I N (ジャグリング)、
目黒宏次郎 (テトラアクト) ほか

森のステージショー おottoちゃん、メランコリー鈴木、ねむり鳥長井望美、国井美和子

パレード・手作り楽器ワークショップ ムンドノーボぼこブヨ〜ダン

△江東区で会いましょう♪vol.2 https://twitter.com/koto_aimashow/ ○江東文化センター

●11月4(月・祝) 11:30~17:00

浅草十一寸、ARTISTAS CHIKI、ideo2、Entertainer Hi2、okk、こ〜すけ、サンキュー手塚、セクシーDAVINCI、SOBURI、鷹島姫乃、彦一団子、
チムチムサービス、ぱふおーまー まめ、パルーンパフォーマーRAY、ひこひこ、プリコロハウス、Buri♥Cama、ポポラッパタ、三雲いおり

△さいき BIG BANG 大道芸フェスタ <https://twitter.com/saikibigbang> ○大分県佐伯市大手前野外劇場ほか

●11月9(土) 10:00~17:00

KANA、しよぎょ〜むじょ〜ブラザーズ、HI2、ひろと、張海輪、池田洋介、ちんどんかわち家、BOXACTOR YAYA、WAZUMA、渡辺あきら、

△にぎわい 爆発! あつぎ国際道芸 2019 <https://www.city.atsugi.kanagawa.jp/event/festival/d042858.html> ○小田急線「厚木駅」周辺

●11月9(土) 10(日)

Julot、The CHIPOLATAS、中国雑技芸術団、TOKYO 雑技京劇団、加納真実、サンキュー手塚、Kanauknot、ダメじゃん小出、芸人まこと、フレディーノ、
Mr. BUNBUN、ユキンコアキラ、SUKE3&SYU、セクシーDAVINCI、EPPAI&マサトモジャ、HIRO&AG、ココナッツ山本、サクノキ、ひこひこ、ASIA GOLD PRO
WRESTLING、荒木 巴、ゼロコ、3 ガガヘッズ、知念大地、Performer SYO!、コバヤシユウジ、竹内 直&Mike Quartet、オジロス、ブラックエレファン
ツ、てのひら、アルジェントさーかす、エキセントリック吉田、謳歌、松鶴家天太、松本かなこ、PerFormer ZEN、ボールド山田、アストロノーツ、
STILTANGO、Okk、せせらぎ

△南信州民俗芸能フォーラム in 國學院〜遠山霜月祭〈和田〉 <http://mg.minami.nagano.jp/1510> ○国学院大学常磐松ホール

●11月9(土) 12:00~17:30

講演「日本の神楽と遠山霜月祭」小川直之、講演「遠山霜月祭 和田の特質」櫻井弘人、舞の実演、記録映像「遠山霜月祭」

事前申し込み不要、聴講無料

問合せ 0265-53-7100 (南信州民俗芸能継承推進協議会)

△第30回三代目若松若太夫説経節独演会 ○板橋区郷土芸能伝承館

●11月16(土) 13:00

若松若太夫: 芦屋道満大内鑑、小栗判官一代記

入場無料

問合せ: 04-2954-5990 (小峰)、03-3558-4222 (青木)

△東九条野外劇場 ○京都市南区東九条・北河原市営住宅、京都駅前広場、ほか

●11月17(日)

大駱駝艦、ブラックエレファンツ、Kanauknot、ココナッツ山本、STILTANGO、TOKYO 雑技京劇団、Laby

△第6回久留米たまがる大道芸 <https://kurumecityplaza.jp/events/2270/> ○福岡県久留米市・久留米シティプラザ六角堂広場、ほか

●11月16(土) 12:00~19:00 / 17(日) 11:00~15:00

THE CHIPOLATAS、オジロス、ゼロコ、アストロノーツ、EPPAI&マサトモジャ、Okk、加納真実、芸人まこと、SUKE3&SYU、セクシーDAVINCI、せせらぎ、
中国雑技芸術団、てのひら(17日のみ)、TEN-SHO、NAO&WAGAN Brothers、HARO、ブラックエレファンツ(16日のみ)、Mr. BUNBUN

△全国神楽シンポジウム 2019 https://drive.google.com/file/d/1CelVKcZhiE_5IoA4jn49oG4h6m01LMY/view ○國學院大學

●11月16(土) 13:00~17:00 ○國學院大学5号館5202号室

基調講演: 「神楽学の構想II」小川直之、「神楽継承と現代社会」神崎宣武

連続講演: 神田竜浩、櫻井弘人、三上敏視、甲斐眞后 / 討論: 神田、桜井、三上、甲斐

●11月17(日) 13:00~17:00 ○國學院大學百周年記念講堂

みやぎの神楽公演: 椎葉村・向山日当神楽

問合せ: 070-2683-5395 (全国神楽シンポジウム 2019 事務局)

△クラウンぱっかりフェス <http://clown-bakkari-fes.x0.com/clownbakkarifes/> ○横浜みなとみらい・MMテラス

●11月17(日)

クラウン・カレッジ・ジャパン 30周年記念のクラウン大集合企画

△ダメじゃん小出・古今亭駒治のただの鉄道好き <http://koideiinoda.jp/profile.html> ○横浜にぎわい座小ホール

●11月23(土祝) 18:00

前売り¥2000、(当日¥2500)

予約: 045-231-2515 (横浜にぎわい座)

△令和元年台風被災地支援イベント復興応援・ちば大道芸 ○道の駅保田小学校、千葉市中央公園

●11月23(土) 〈道の駅保田小学校〉 11:00~16:00 太平洋、あおき (三朝+うたこ)、狼執事

〈千葉市中央公園〉 11:00~16:00 紙磨呂、Pirates of the Chiba、JT

●11月24(日) 〈道の駅保田小学校〉 11:00~16:00 AXEL 翼、ぱふおーまーまめ、JUGGLER MAKI、Pirates of Hottasyougakkou

〈千葉市中央公園〉 および 〈千葉銀座商店街〉 11:00~17:00 サンキュー手塚、Kanaunot、油井ジョージワンマンバンド、彦一団子、
くす田くす博、performer SYUN、おottoちゃん、森田智博、紙磨呂、clown Bonb、あおき (三朝+うたこ)、まる
はっち<プリコロハウス>、まさきち、JT、YUKI、鷹島姫乃、狼執事、フェイスペインター☆ミホウ、太平洋

若林正の

食って極楽

日常的ランチどころ

・・・高田馬場「座・麻婆唐府」

週に一、二回高田馬場にボランティアの為図書館に出かけている。昼飯に、いちばん多く利用していた「さくら水産」が無くなってしまった。前にここに書いた五百円ランチもあるが図書館から少し遠い。

近場に何か、と思って探してみたらありました。それが「座・麻婆唐府」。何だか昔の暴走族のチーム名みたいだけど、中国人スタッフが経営する本格中華の店。

昼11時と早い時間から営業して、ランチメニューの種類が豊富。しかもお客は中国人が多い。

こりゃ美味しいとこです。そして私が選ぶからには飯お代わり自由は当然、ここはサラダ、味付け卵も取り放題！

店名通り四川料理が得意らしく、麻婆豆腐は花椒が効いてしびれる辛さ。本格的でご飯がススムくん。それで¥780! 最近ラーメンは自粛してるけど、ここのランチに、いろんな麺がチャーハン付いて¥680 なのを発見してしまった!! これ、サラダや卵も取り放題なのかな? 次はチャレンジしてみよう。・・・ただ中華は続けると飽きるんだよね～

○食べ放題でも飯は二杯に抑えてる度

=3ワカ

大道芸・見たり・聞いたり・演じたり

☆その 336

鷲塚隆さん追悼の紙芝居会

上島敏昭

◆横浜市歴史資料館の街頭紙芝居資料

横浜市歴史博物館で定期的に紙芝居を実演している岸本茂樹さんから連絡があり、10月15日に元紙芝居師であった鷲塚隆さんを追悼する紙芝居会を行うので来ませんかと誘いを受けた。横浜市歴史博物館は、横浜市の考古、歴史、民俗を総括的にテーマとして研究する博物館で、街頭紙芝居の蒐集にも力をいれており、2010年には「大紙芝居展…よみがえる昭和の街頭文化」と題した企画展も開催している。

その企画展のあとから、同館では毎月一度、所蔵する街頭紙芝居資料を利用して紙芝居の実演を続けている。岸本さんはその実演メンバーの中心で、アマチュアながら「なつかし亭」と名乗って、各地のイベントにも出演している。その師匠にあたるのが鷲塚隆さんである。昭和4年(1929)に生まれ、平成24年(2012年)10月6日、83歳で亡くなった。



横浜市歴史博物館の街頭紙芝居収集のきっかけになったのが、鷲塚さんが自身の所蔵する街頭紙芝居コレクション、約百巻を同館に寄贈したことで、その後、同市中央図書館所蔵の街頭紙芝居資料が同館に移管されたりして、それらが横浜市の有形民俗文化財に指定され、日本でも有数の街頭紙芝居コレクションとなっている。

同館の研究員・刈田均さんによれば、日本で最大の街頭紙芝居コレクションは大阪の塩崎おとぎ紙芝居博物館。同館の母体は、日本でただ一つの現業紙芝居貸元である「三邑会」で、20000巻以上の所蔵といわれる。宮城県図書館には5333巻が所蔵されている。仙台市で長く紙芝居をつづけていた故井上藤吉さん所蔵資料がベースである。この資料は国の有形文化財に登録されている。また福岡県飯塚市の市立郷土資料館にも3000枚以上が所蔵され、福岡県有形民俗資料に指定されている。

ほかにも東京都立多摩図書館(158巻)、江東区深川図書館(206巻)、また台東区立下町風俗資料館、昭和館、群馬県立土屋文明記念文学館、府中市郷土の森博物館にも所蔵されていることが知られており、民間でもマツダ映画社は406巻を所蔵している。(『横浜市歴史博物館調査研究報告 vol.15』2019年3月)

横浜市歴史博物館には2695巻を所蔵するというから、分かっている範囲では、塩崎おとぎ紙芝居博物館、宮城県図書館につぐ日本で三番目の所蔵巻数を誇っている。

横浜歴史博物館の紙芝居コレクションの特徴は、これを活用して紙芝居を実演していること。現業の三邑会は別にして、公的機関で、所蔵資料を実演に使用させるというのは珍しいのではなかろうか。多くの機関は紙芝居を歴史資料として保存することに重点をおき、活用は二の次なのである。

これは鷲塚さんが同館に寄贈する際に「実演に使用してほしい」と希望していたからで、現在もその思いが引き継がれ、毎月一度の実演をつづけているのである。

また、私は知らなかったが、鷲塚さん追悼の紙芝居会も、毎年、命日である10月6日の前後に、鷲塚さんの自宅でおこなってきたという。せっかくのお誘いなので、同行させていただくことにした。

◆鷲塚隆さんの店

10月15日。前日の雨もあがり、曇天ながら暑くなく寒くなく、まずまずの天気。11時に横浜市歴史博物館に着くと、私を待ちかねたように、紙芝居数巻と紙芝居舞台、マイク、スピーカーなどを車に積み込んで、刈田さんの運転で鷲塚さん宅へ出発した。演者は、今回は岸本さんお一人とのことで、同行の私を入れて一行は三人である。しばらく走ると横浜駅の脇に出た。そこを抜けランドマークタワーを左に見ながら走るうちに、沿道のビルは高層から低層へ変わっていく。やがて幹線から細道に入るとチマチマした家がならぶ住宅街となった。道を右に折れ左へ曲がり、くねった道を道なりに走った末、40分ぐらいで「ファミリー丸岡」という店に到着した。



住所表示では磯子区岡村。笹堀という交差点の目の前である。この店が昭和30年代に、鷲塚さんが紙芝居を辞めた後ではじめた八百屋さん。

八百屋というより食品スーパーである。

鷲塚さんのライフヒストリーは同館の『調査研究報告 vol. 9』(2013 年 3 月)に香月洋一郎さんがまとめている。

生まれは「横浜が北海道か定めがたい」というが、育ったのは横浜区磯子区。昭和 4 年生まれだから、物ごころついたころは戦争である。電気学校に入ったが途中でやめて船乗りになった。その船が爆撃され、泳いで陸にあがって命拾いした。それから九州の若松で土木作業をしていた。そこで終戦を迎え、横浜にもどってブラブラしているときに、誘われて紙芝居をやりはじめた。最初は東京の小岩で、半年ぐらい先輩に、のちに有名落語家になった T がいた。一年ぐらいして千住に移り、それから墨田区へと場所を変えながら紙芝居をつづけた。20 歳前後の若い紙芝居師なので人気があった。

それまでは横浜から通っていたが、昭和 28、29 年ごろ自宅近くの横浜市磯子区でやるようになり、貸元にもなった。所属する演者は、多いときは 10 人ぐらい、たいていは 3 人か 4 人だった。数年してテレビが盛んになると紙芝居人気は急速に衰えた。それをみて「こりゃだめだ、とスパッと手を引いた」。それから一時、横浜ドックに勤めたが、危険な仕事なのでこれもやめて、八百屋になった。



香月さんも驚いていたが、八百屋といっても店舗を兼ねた自宅は 4 階か 5 階のビル。これだけの店を持つにはどれほど苦労したものか。ちょっとやそとのことではなかろう。博物館に寄贈した紙芝居は、店が軌道に乗ってから購入したもので、これを使って実演もしていたが、若いころ、苦労したころの思い出として、あくまでもボランティア活動だった。2010 年の「大紙芝居展」では、博物館のホールで実演なさったのを私も拝見している。すでに 80 歳を越えていたが声も大きく、歯切れも良く、お客さんを引き付ける愛嬌もあって、若いころの人气が想像された。

声の大きさや歯切れの良さ、愛嬌ある笑顔などは八百屋さんをやっていくうえでも大きな武器となったにちがいない。

◆追悼の紙芝居実演

さて、車を駐車場に入れて、まず、鷲塚さんの奥様に挨拶し、鷲塚さんの仏前に御焼香をあげてから、紙芝居の準備をはじめた。まず、場所を決める。今回は駐車場の一面に設定し、お向かいの新聞配達所をお願いをして自転車をお借りした。その荷台に紙芝居舞台を括り付けて、これでステージの出来上がり。店の裏からビール瓶を運搬する箱を数個持ってきて、これを逆さにして並べて、これがイス。その上に段ボールを座布団代わりにのせて、客席が完成。あとはお客さんを待つばかりである。

平日の昼間、14:00 と 15:00 にやろうというのだから難しい。いったいお客さんは来るのだろうか。買い物にやってきたお客さんに声をかけるのだが、反応はさほど芳しくない。それでもこの店の経営者がかつて紙芝居師であったと話すと興味をもってきて、「買い物をしたあとで見ます」と言ってくれるひともいる。14:00 の回は口慣らしも兼ねて、一人でも見たい人がいたらやってしまおうと、とにかくやり始めたのが功を奏して、ビール箱席はいつのまにか満席。通りがかりの人も立ち止まってしばらく見てくれたりもした。刈田さんが数えたところ「20 人ぐらいがみてくれた」という。

二回目は 15:00 から。待っていると学校帰りの子どもたちが通っていく。声をかけると「塾に行くから」と言いながら通り過ぎてしまう。なかには見ていきそうな子もいるのだが、いまのこどもたちはみんな忙しいのだ。20~30 人ぐらいが通り過ぎて行った。



岸本さんは「ちょっと回ってきます」と言いながら、拍子木を叩きながら道を歩いて行っただが、しばらくするとどこやらから子供グループ数人を連れて戻ってきた。就学前後から小学校低学年ぐらい。この子たちに見せていると、近所の若いお母さんがもっと小さな兄弟を連れてやって来た。やっぱり子供たちが見てくれると紙芝居劇場はパァーッと明るくなる。途中からは鷲塚さんの奥様の里子さんも見物にきてくれて、供養にもなった。結局、二回で 40 名をこえるお客さんが見てくれたことになる。

結果的には、紙芝居らしいものぼのとした気持ちのいい紙芝居会になったのだが、このあたりを昭和 30 年代には鷲塚さんが紙芝居で回っていたのかと思うと、ちょっと複雑な気持ちだった。



その日、家に帰ってから横浜の地図をみた。この地図の赤旗のあたりが、磯子区岡村、ファミリー丸岡の位置になる。横浜駅やみなとみらい、関内など大道芸にも馴染みのあるヨコハマよりはずっと南。JR 根岸線と京浜急行線の中間で、どこの駅にも相当な距離があり、通勤通学にはバス利用が必須な町だ。昭和 30 年代にはこのあたりにもいっぱい子供がいて、商店も賑わっていたのだろう。繁華街からは相応の距離があるけれど、人がたくさん暮らしていた町。駄菓子屋や八百屋があり、町工場があり銭湯があり、小さな公園や空き地があり、お寺や神社の静かな境内がある町。鷲塚さんが紙芝居をやっていたのは、そんな町だ。要するに東京でいう下町。このあたりは横浜の下町なのだと思う。

現在、巨大都市ヨコハマでは大道芸が盛んに行われている。ところが、その周辺では街は賑わいを失い、子供の数が減り、その子供たちも時間に縛られ、下町らしさはほとんど見えない。下町が生きていてくれないと、紙芝居もむずかしいのかなあと考えた一日であった。